

提供機関: 金沢大学

科目名	里海体験実習 in 能登半島			復習用ビデオの録画・配信 —	開講期間	夏休みの集中講義(2泊3日)として実施します。 実施日が決まり次第、HP上でお知らせします。			
	英文科目名	Field Excursion to Satoumi in Noto Peninsula		テレビ会議システム —	開講時間				
担当教員	中村 浩二(外6名)			eラーニング —	開講場所				
受講定員等	単位数 2単位 定員数 20名 特別聴講学生等定員 科目等履修生定員 シティカレッジ聴講生定員 定員超過時の選考方法等 受付順				成績評価の方法	ガイダンスと実習への出席が必須、実習、討論、レポートを総合判定します。			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:3月15日～3月23日				受講料
				宿泊費	9,800円	28,200円	29,600円	宿泊費	10,000円
科目の内容	<p>能登半島は、豊かな自然と長年培われてきた伝統文化に恵まれています。しかし、農林水産業の不振、過疎・高齢化の急速な進行によって、里山里海が荒廃しつつあり、地域社会の維持が困難になりつつあります。地域住民、企業、自治体は、能登の豊かな地域資源である「里山里海」を活かし、自然共生・環境配慮型の地域再生をめざしています。</p> <p>本実習は、2泊3日で能登半島にある「能登学舎」(金沢大学の能登半島里山里海自然学校、能登里山マイスター養成プログラム等の拠点施設。廃校になった珠洲市の小学校を再利用した拠点施設であり、金沢大学に2010年10月に設立された能登オペレーティング・ユニットの本部がある)、金沢大学能登臨海実験施設(能登町)、石川『県ふれあい海洋センター(能登町)等を訪問するとともに、各地の漁港、カキ養殖場、定置網等の見学、里海地域の民宿、市場の関係者にも話を伺います。これらを通して、(1)里海に直接触れるとともに、(2)能登半島の里海の歴史の変遷、現状と問題点、今後の方向性等にかんする講義を受け、(3)参加者、講師、地域の方々と一緒にディスカッションを行います。</p>							その他特記事項	
授業担当教員紹介	URL	<a href="http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/satoyama/saiseigaku/outline.htm">http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/satoyama/saiseigaku/outline.htm</a>							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	kojink@staff.kanazawa-u.ac.jp							